



# 内線プラス

クライアントソフト B (ユーザ編) Android 版 V2

使用手引書 第3版

富士通株式会社

- ・ 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- ・ 本書は予告なしに変更されることがあります。

## はじめに

このたびは、「内線プラス クライアントソフト B Android 版」をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

「内線プラス クライアントソフト B Android 版」は、SIP プロトコルをサポートし、FUJITSU Network MobiSart と連携することにより、内線電話サービスを提供するアプリケーションです。

本書は、「内線プラス クライアントソフト B Android 版」の使用方法について説明した使用手引書です。

本書では以下の名称を用いています。

- ・ 「内線プラス クライアントソフト B Android 版」を「内線プラス」と称します。
- ・ 「FUJITSU Network MobiSart」を「MobiSart」と称します。
- ・ その他の名称については、一般に各開発メーカーの商標または登録商標です。

## 本書を読むにあたって

「内線プラス」利用に際し、関連する製品の機能および操作については、各ソフトウェアおよび製品に添付のマニュアルを参照してください。

なお、Android 本体の機種により、本体設定での選択項目の名称や操作が異なる場合があります。詳細は、製品添付の取扱説明書、または各メーカーによる Web サイトなどを参照してください。

# 使用許諾契約書

富士通株式会社（以下「弊社」といいます）は、お客様のスマートフォンにて「内線プラス」（以下「本アプリケーション」といいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「アプリケーションの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

下記「アプリケーションの使用条件」をお読みいただき、ご同意頂けた場合にのみ、本アプリケーションをご使用いただく事ができます。

## アプリケーションの使用条件

### 1. 本アプリケーションの使用および著作権

- (1) お客様は、本アプリケーションを日本国内において、お客様のスマートフォンで、以下に定める用途に使用するためにのみご使用できます。  
別途弊社が提供している「FUJITSU Network MobiSart 基本ソフト」（以下、「本ライセンス」といいます）を購入した法人からの指示にしたがって、MobiSart（以下「本サーバ」といいます）にお客様のスマートフォンを接続し、お客様間の通話その他の本サーバが提供するサービスを利用するため。
- (2) お客様は本アプリケーションの使用権のみを得るものであり、本アプリケーションの著作権は弊社に帰属するものとします。
- (3) 本アプリケーションに関するお客様からのお問い合わせは、本ライセンスを保有している法人からのみ受け付けます。

### 2. 制限行為

- (1) お客様は、本アプリケーションを修正、変更、複製、改造をすること、あるいは逆コンパイル・逆アセンブルを伴うリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- (2) お客様は、本アプリケーションの全部または一部を、有償・無償を問わず第三者に販売、頒布、貸与、譲渡等しあるいは再使用権を許諾しあるいは担保の目的に供することはできません。
- (3) お客様は、本アプリケーションを日本から輸出することができません。

### 3. 免責事項

- (1) 弊社は、本アプリケーションに瑕疵がないことを保証せず、本アプリケーションの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないものとします。
- (2) お客様が下記ハイセイフティ用途に本ソフトウェアを使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても同様に、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- (3) 弊社は、本アプリケーションが第三者の著作権その他の権利を侵害していないことを保証するものではありません。

#### 4. 責任の制限

弊社は、いかなる場合であっても、本アプリケーションの使用または使用不能から生じるいかなる損害（直接的損害、間接的損害、特別な事情から生じた損害、逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これらに限られないものとします）に関して、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

#### 5. ハイセイフティ

(1) 本アプリケーションは、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本アプリケーションを使用しないものとします。

(2) ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途を言います。

##### 記

原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

#### 6. その他

本契約の準拠法は、日本法とします。また、本契約に関連する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

#### 内線プラス クライアントソフト B Android 版 使用許諾契約特約事項

本アプリケーションには、オープンソースソフトウェアが含まれており、下記の使用許諾条件が適用されます。各オープンソースソフトウェアの使用許諾条件の入手を希望される方は、下記 URL より入手することが可能です。

URL: <https://fenics.fujitsu.com/products/download/licence/>

- (1) 使用許諾条件名称：Apache License, Version 2.0.  
OSS 名称：zip4j, Apache Commons Net, SlidingMenu

以 上

# 本書の構成

以下に本書の構成を示します。

## 第1章 ログイン・ログアウト

本アプリケーションの MobiSart へのログイン・ログアウト方法について説明しています。

## 第2章 設定

本アプリケーションの設定内容について説明しています。

## 第3章 操作

本アプリケーションの操作方法について説明しています。

## 付録

- A 使用時の留意事項
- B ライセンス

# 目次

第1章 ログイン・ログアウト	7
1.1 Google Play からのインストール	8
1.2 起動～MobiSart へのログイン	8
1.3 MobiSart からのログアウト	11
第2章 設定	12
2.1 サービス設定	13
2.1.1 可変不在転送の設定	15
2.1.2 応答遅延転送の設定	16
2.1.3 話中転送の設定	16
2.1.4 圏外転送の設定	16
2.1.5 外線付与の設定	17
2.1.6 夜間切替の設定	18
2.2 設定	19
2.2.1 着信音	21
2.2.2 キーパッド	22
2.2.3 発信オプション	23
2.2.4 アカウント	24
2.2.5 ヘルプ	25
第3章 操作	26
3.1 「内線プラス」の基本操作	27
3.1.1 「内線プラス」の起動	27
3.1.2 電話をかける	29
3.1.3 電話を受ける	30
3.1.4 通話中画面の見かた	31
3.1.5 電話を転送する	33
3.1.6 電話をパークする	34
3.1.7 グループ保留	35
3.1.8 通話中に電話を受ける	37
3.2 「内線プラス」の強制終了	38
付録 A 使用時の留意事項	39
付録 B ライセンス	41

## 第1章 ログイン・ログアウト

本章では、「内線プラス」のログイン・ログアウト手順について説明します。

## 1.1 Google Play からのインストール

Google Play から「内線プラス」をダウンロード・インストールする方法について説明します。

- ・ Android から「Google Play」をタップします。
  - ・ 検索エリアに「内線プラス クライアントソフト B」と入力し、検索します。
  - ・ 検索結果から「内線プラスクライアントソフト B Android 版」を選択し、「インストール」をタップします。
  - ・ 「次へのアクセスが必要」を一読し、「同意する」をタップします。
- ※ 「FUJITSU Network 内線プラス クライアントソフト A Android 版」は本システムではご利用になれません。ご注意ください。

## 1.2 起動～MobiSart へのログイン

「内線プラス」の起動から MobiSart へのログイン方法について説明します。

(1) Wi-Fi 接続を行います。

- ・ メニュー→「本体設定」→「Wi-Fi」で、「OFF」をタップして「ON」にします。
- ・ 「Wi-Fi」をタップし、Wi-Fi ネットワーク画面を表示します。  
利用可能な Wi-Fi ネットワークがリスト表示されるので、MobiSart によるネットワークを選択し、「接続」をタップします。

(2) 「内線プラス」アイコンをタップします。

インストールされた「内線プラス」は、Android のホーム画面で  → 「ダウンロード／その他」または「ダウンロードアプリ」において、「内線プラス」をタップすると起動できます。起動すると、使用許諾契約書が記載された画面を表示します(図 1-1)。



図 1-1 起動画面

使用許諾契約書を一読し、同意される場合は「同意します」をタップします。  
MobiSart へ接続するための設定画面を表示します。

(3) MobiSart への接続設定を入力します。

なお、MobiSart での設定値については、管理者にお問い合わせください。



図 1-2 ログイン設定画面

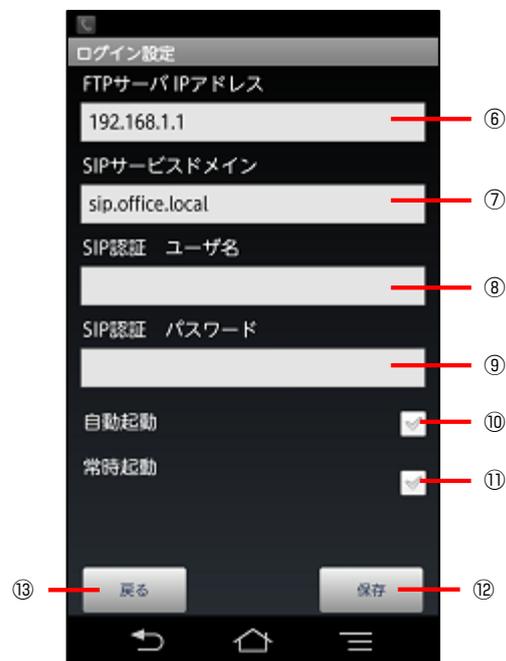


図 1-3 ログイン詳細設定画面

#### <ログイン設定画面>

- ① 内線番号 ※1  
使用する内線番号を入力します。
- ② 詳細設定  
タップすると、ログイン詳細設定画面(図 1-3)が表示されます。
- ③ 管理者設定  
管理者が設定する項目となります。詳細は別紙「内線プラス クライアントソフト B(管理者編) V2 使用手引書」をご参照ください。
- ④ 保存  
入力した設定値を保存し、MobiSart への接続を試みます。  
接続が成功すると、図 3-1 ホーム画面を表示します。
- ⑤ 戻る  
起動画面に戻ります。

<ログイン設定詳細画面>

- ⑥ FTP サーバ IP アドレス ※2  
接続する FTP サーバの IP アドレスを入力します。  
デフォルトは「192.168.1.1」です。
- ⑦ SIP サービスドメイン ※1  
SIP メッセージに付与するサービスドメインです。  
デフォルトは「sip.office.local」です。
- ⑧ SIP 認証 ユーザ名 ※3
- ⑨ SIP 認証 パスワード ※3  
SIP 認証を必要とする設定の場合、MobiSart での認証設定を入力します。
- ⑩ 自動起動  
「内線プラス」は常駐型サービスです。  
「自動起動」を ON にすると、Android 起動時に、自動的に「内線プラス」が常駐します。
- ⑪ 常時起動  
「常時起動」を ON にすると、Android スマートフォンのタスクマネージャから「内線プラス」を終了しても、再度「内線プラス」が起動します。
- ⑫ 保存  
入力した設定値を保存します。
- ⑬ 戻る  
ログイン設定画面に戻ります。

※1 MobiSart への接続に必要な設定です。

※2 「内線プラス」は、MobiSart への接続前に、FTP サーバの探索を行います。

FTP サーバの探索に失敗した場合に、本設定値を使用して FTP サーバへの接続を試みます。

※3 「内線プラス」による FTP サーバの探索が成功した場合にのみ有効です。

### 1.3 MobiSart からのログアウト

「内線プラス」のログアウト方法について説明します。



図 1-4 終了

- (1) 「内線プラス」のホーム画面表示中に、メニュー→「終了」をタップすると、「内線プラス」が MobiSart からログアウトし、常駐を停止します。

## 第2章 設定

本章では、「内線プラス」の各設定について説明します。

「内線プラス」のホーム画面表示中に、メニュー→「オプションメニュー」を表示します。



図 2-1 オプションメニュー

- ① [2.1 サービス設定](#)  
「内線プラス」の各サービスの設定・解除を行います。
- ② [2.2 設定](#)  
「内線プラス」の設定を行います。
- ③ リセット  
「内線プラス」を終了後、再起動します。  
ここでは、設定ファイルのダウンロードは行いません。
- ④ ダウンロード  
「内線プラス」を終了後、設定ファイルのダウンロードを行い、再起動します。
- ⑤ 終了  
「内線プラス」を終了(ログアウト)します([1.3 MobiSart からのログアウト](#))。

## 2.1 サービス設定

「内線プラス」の各サービスの設定・解除について説明します。



図 2-2 サービス設定画面



図 2-3 ホーム画面

- ① [2.1.1 可変不在転送の設定](#)
- ② [2.1.2 応答遅延の設定](#)
- ③ [2.1.3 話中転送の設定](#)
- ④ [2.1.4 圏外転送の設定](#)
- ⑤ [2.1.5 外線付与の設定](#)
- ⑥ [2.1.6 夜間切替の設定](#)

①～⑥をタップすると、それぞれ設定画面が表示されます。

- ⑦ ～⑩、⑫

「内線プラス」は①～⑥によってサービスを設定すると、それに使用した値を保存します。保存された値がある状態で、チェックボックスをタップすると、それぞれのサービスの設定・解除を保存された値によって行います。

なお、保存された値がない状態では、それぞれ設定画面が表示されます。

- ⑪ 不在  
チェックを付けると、「内線プラス」が電話を受けることができなくなります。
- ⑬ 不在設定中ボタン  
不在を設定中の場合、ホーム画面に表示されます。  
タップすると、「サービス設定」を表示します。
- ⑭ 不在設定中アイコン   
不在を設定中の場合、ステータスバーに表示されます。  
ステータスバーをスライドし、「内線プラス 不在設定中」をタップすると、「ホーム画面」を表示します。

## 2.1.1 可変不在転送の設定

電話を受けられない場合に、あらかじめ他の内線電話へ着信を転送する設定ができます。

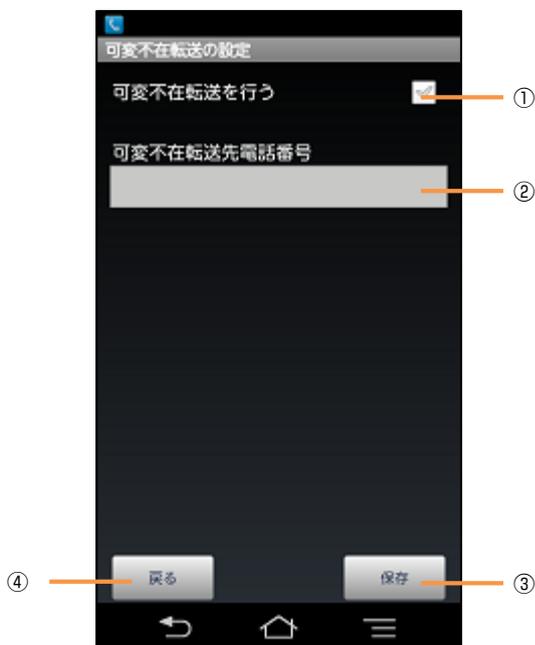


図 2-4 可変不在転送の設定画面



図 2-5 ホーム画面

- ① 可変不在転送のオン／オフ  
チェックを付けた場合は可変不在転送登録、チェックを外した場合は可変不在転送解除となります。
- ② 可変不在転送先の内線電話番号  
可変不在転送を行う場合の、転送先となる内線番号を入力します。
- ③ 保存  
可変不在転送の登録／解除を MobiSart に登録します。
- ④ 戻る  
「サービス設定」を表示します。
- ⑤ 着信転送登録中ボタン  
可変不在転送を登録中の場合、ホーム画面に表示されます。  
タップすると、「サービス設定」を表示します。
- ⑥ 着信転送登録中アイコン  
可変不在転送を登録中の場合、ステータスバーに表示されます。  
ステータスバーをスライドし、「内線プラス 着信転送登録中」をタップすると、「ホーム画面」を表示します。

- ・可変不在転送を登録する場合
  - ①のチェックを付け、②に着信を転送する内線番号を入力します。
  - ③をタップします。
- ・可変不在転送を解除する場合
  - ①のチェックを外します。
  - ③をタップします。

### 2.1.2 応答遅延転送の設定

着信後、応答しないまま一定時間が経過した場合、他の内線電話へ着信を転送する設定ができません。

設定手順については、[2.1.1 可変不在転送の設定](#)に準じます。

### 2.1.3 話中転送の設定

「内線プラス」通話中に電話を受けた場合、他の内線電話へ着信を転送する設定ができません。設定手順については、[2.1.1 可変不在転送の設定](#)に準じます。

### 2.1.4 圏外転送の設定

「内線プラス」がログアウト中に電話を受けた場合、他の内線電話へ着信を転送する設定ができません。

設定手順については、[2.1.1 可変不在転送の設定](#)に準じます。

## 2.1.5 外線付与の設定

MobiSart に外線発信の設定をしている場合、特番を付与することで公衆網に電話をかけることができます。

ここでは、指定した番号の先頭に、外線特番を自動的に付与する設定ができます。

※MobiSart の外線発信の設定については、管理者にお問い合わせください。

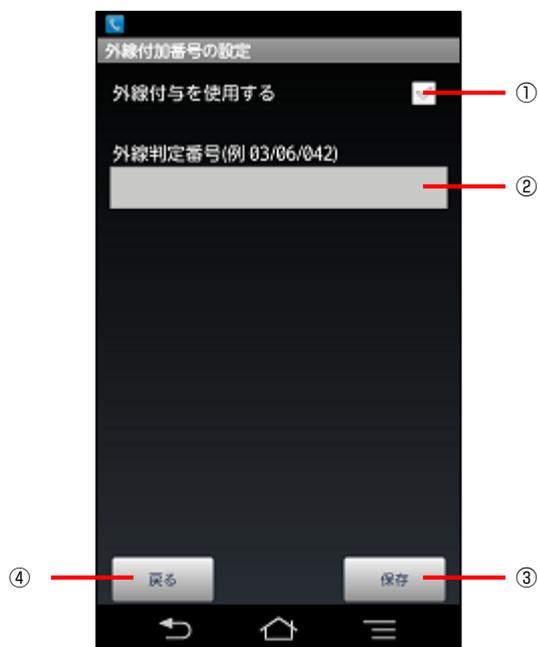


図 2-6 外線判定番号の設定画面

- ① 外線特番のオン／オフ  
チェックを付けた場合、自動的に外線特番を使用します。
- ② 外線判定番号  
外線発信を行うかどうかを判断する番号を入力します。  
例えば「090-xxxx-xxxx」へ発信するときは必ず外線発信を行う場合、「090」を入力します。  
「090」、「080」など複数ある場合、「090/080」と入力します。
- ③ 保存  
外線特番の使用／不使用を保存します。
- ④ 戻る  
タップすると、「サービス設定」を表示します。

## 2.1.6 夜間切替の設定

MobiSart では、公衆網からの着信を、「通常」、「夜間1」、「夜間2」の3つのモードに対応した着信先に転送するグループ（夜間切替グループ）を作成することができます。

「内線プラス」からは、このグループごとのモードを設定することができます。

また、「内線プラス」が夜間切替グループに属する場合、当該グループのモードが「夜間1」、または「夜間2」の場合に、夜間切替状態が表示されます。



図 2-7 夜間切替の設定画面



図 2-8 ホーム画面

- ① グループ  
モードを設定するグループの番号を入力します。
- ② モード  
設定するモードを選択します。
- ③ 保存  
入力した値で MobiSart への設定を行います。
- ④ 戻る  
タップすると、「サービス設定」を表示します。
- ⑤ 夜間切替設定中アイコン  
「内線プラス」が夜間切替グループに属する場合、当該グループのモードが「夜間1」、または「夜間2」の場合に、夜間切替設定中アイコンが表示されます。  
ステータスバーをスライドし、「内線プラス 夜間 1(または夜間 2)」をタップすると、「ホーム画面」を表示します。

## 2.2 設定

「内線プラス」全体の設定について説明します。



図 2-9 設定画面(上部)



図 2-10 設定画面(下部)



図 2-11 ロック解除画面

- ① [2.2.1 着信音](#) ※
- ② 受話音量  
「内線プラス」から聴こえる受話音量を調整することができます。  
Android 本体の音量上下キーによる音量調節では、携帯電話での通話、および「内線プラス」での通話双方に作用しますが、ここで調節した音量は、「内線プラス」での通話にのみ有効で、携帯電話での通話には影響しません。
- ③ [2.2.2 キーパッド](#) ※
- ④ [2.2.3 発信オプション](#) ※
- ⑤ 自動起動  
「内線プラス」は常駐型サービスです。  
「自動起動」を ON にすると、Android 起動時、自動的に「内線プラス」が常駐します。
- ⑥ 常時起動  
「常時起動」を ON にすると、Android スマートフォンのタスクマネージャから「内線プラス」を終了しても、再度「内線プラス」が起動します。
- ⑦ スリープ起動  
Android を長時間操作しない場合、スリープする（画面が暗くなる）ことがあります。  
「スリープ起動」を ON にすると、スリープ状態から電源ボタンなどで復帰したときに、「内線プラス」のロック解除画面(図 2-10)が表示されます。
- ⑧ [2.2.4 アカウント](#) ※
- ⑨ Wi-Fi 再接続  
タップすると、Wi-Fi ネットワークへの接続を一度切断し、再接続を試みます。  
しばらく経っても接続が完了しない場合、[1.2 起動～MobiSart へのログイン](#)の(1)を行い、Wi-Fi ネットワークへの接続を完了してください。
- ⑩ 管理者設定  
管理者が設定する項目となります。詳細は別紙「内線プラス クライアントソフト B (管理者編) V2 使用手引書」をご参照ください。
- ⑪ [2.2.5 ヘルプ](#) ※

※①、③、④、⑧、⑪をタップすると、それぞれ設定画面が表示されます。

## 2.2.1 着信音

Android で設定している着信音とは別に、「内線プラス」にかかってきた電話(MobiSart 経由での着信)に対する着信音を選択することができます。

なお、Android が「マナーモード」である、または着信音量がゼロとなっている場合は、「内線プラス」にかかってきた電話に対しても着信音を鳴らしません。



図 2-12 着信音の設定画面

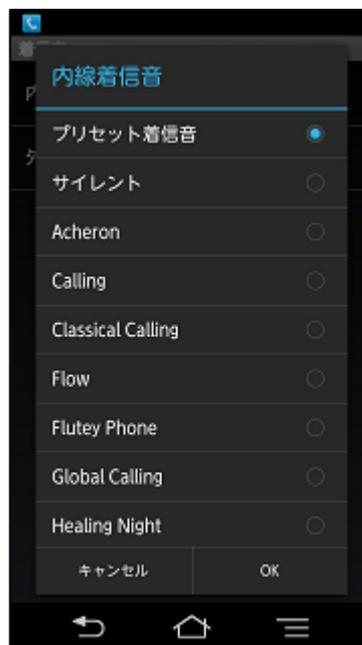


図 2-13 内線着信音の設定画面 (例)

①、②とも、「プリセット着信音」を含む、機種ごとの着信音設定画面が表示されます (図 2-13)。

「プリセット着信音」を選択すると、「内線プラス」で着信したときも、Android で設定した着信音が鳴ります。

- ① 内線着信音  
MobiSart にログインしている別内線から電話を受けたときの着信音を設定します。
- ② 外線着信音  
MobiSart 経由で外線から電話を受けたときの着信音を設定します。

## 2.2.2 キーパッド

「内線プラス」の発信時に使用するキーパッドについて、Android 本体のキーパッド／内線プラスのキーパッドを選択することができます。



図 2-14 キーパッド

- ① 本体のキーパッド  
発信時に「キーパッド」を選択すると、Android 本体のキーパッドを表示します。Android 本体のキーパッドからの発信は、[2.2.3 発信オプション](#)に従います。
- ② アプリのキーパッド  
発信時に「キーパッド」を選択すると、「内線プラス」のキーパッドを表示します。「内線プラス」のキーパッドからの発信は、発信オプションによらず、常に「内線プラス」からの発信となります。

### 2.2.3 発信オプション

「内線プラス」起動中の発信操作について、MobiSart 経由での発信／キャリア網への発信を選択することができます。



図 2-15 発信オプション

- ③ 常に携帯番号を使用  
発信操作をした場合は常に、携帯電話での発信(キャリア網への発信)を行います。
- ④ 通話ごとに確認  
発信操作をするごとに MobiSart 経由での発信／キャリア網への発信を選択します。  
なお、選択画面には「内線プラス／自分の携帯電話」と表示されます。
- ⑤ 内線電話を優先  
「内線プラス」が MobiSart へとログインしている状態であれば、MobiSart 経由での発信を行います。「内線プラス」ログアウト時はキャリア網への発信を行います。
- ⑥ 携帯電話を優先  
「内線プラス」が MobiSart へとログインしている状態であっても、キャリア網への発信を行います。キャリア網が圏外の場合に MobiSart 経由での発信を行います。

## 2.2.4 アカウント

「内線プラス」がログインしたアカウント情報を参照することができます。

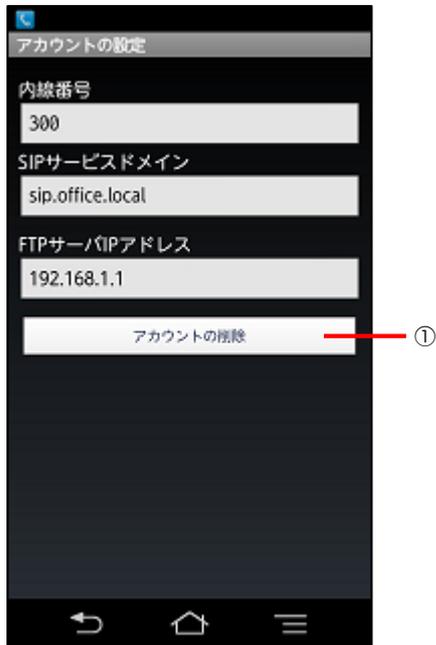


図 2-16 アカウントの設定画面

- ① アカウントの削除  
ログインしているアカウントを削除します。  
削除後は図 1-1 起動画面を表示します。

## 2.2.5 ヘルプ

バージョン情報の参照やログの設定などができます。



図 2-17 ヘルプ画面

- ① バージョン情報  
「内線プラス」のバージョン情報画面を表示します。
- ② ログ設定  
チェックを付けると、再起動後から「内線プラス」のログを出力します。
- ③ ログの送付  
タップすると、取得したログを添付した状態で、メーラが起動します。

## 第3章 操作

本章では、「内線プラス」の操作手順について説明します。

## 3.1 「内線プラス」の基本操作

### 3.1.1 「内線プラス」の起動

「内線プラス」の起動手順について説明します。

- ・ Android のホーム画面で  → 「ダウンロード／その他」または「ダウンロードアプリ」 → 「内線プラス」をタップすると起動できます。
- ・ すでに常駐している場合、画面上部のステータスバーを下にドラッグし、通知パネルから「内線プラス」をタップしても、起動することができます。



図 3-1 ホーム画面

- ① 内線番号  
第 1 章にてログインした内線番号が表示されます。
- ② キーパッド  
タップすると、ダイヤルパッドが表示されます。
- ③ 履歴  
タップすると、履歴画面が表示されます。
- ④ 連絡先  
タップすると、連絡先画面が表示されます。

⑤ 固定短縮／パーク応答

タップすると、「固定短縮ダイヤル」／「パーク応答」を選択することができます。

<固定短縮>：固定短縮ダイヤルによる発信

MobiSart に固定短縮ダイヤルが登録されている場合、登録された固定短縮番号(※1)に電話をかけることで、登録先の相手に電話をかけることができます。

<パーク応答>：パークされた電話に応答する

[3.1.6 電話をパークする](#)によって、パーク実行を行った電話に応答することができます。パーク応答を行うには、パーク実行時に使用したパーク番号の入力が必要です。

・固定短縮ダイヤルによる発信／パークされた電話に応答を行う場合

⑤をタップし、「固定短縮ダイヤル」／「パーク応答」を選択します。

ダイヤルパッド(※2)に、固定短縮番号／パーク番号を付与し、発信します。

※1:固定短縮番号については、管理者にお問い合わせください。

※2:「固定短縮ダイヤル」または「パーク応答」選択後に表示されるダイヤルパッドには、それぞれのサービスを実行するための番号が表示されています。サービスを実行するときには、この番号は削除せずに、そのまま固定短縮番号またはパーク番号を入力してください。なお、サービスの実行をキャンセルする場合は、この番号を削除します。

⑥ ピックアップ

タップすると、着信している別内線への電話を受けることができます。

### 3.1.2 電話をかける

「内線プラス」から電話をかける手順について説明します。※1  
電話をかける手順は、ダイヤル発信、連絡先発信および履歴発信があります。

#### 3.1.2.1 ダイヤル発信

- ・「内線プラス」のホーム画面(図 3-1)から「キーパッド」ボタンのタップ→「ダイヤルパッド」を表示します。
- ・発信する相手の電話番号を入力します。
- ・発信ボタンをタップします。

#### 3.1.2.2 連絡先発信

- ・「内線プラス」のホーム画面(図 3-1)から「連絡先」ボタンのタップ→「連絡先画面」を表示します。
- ・発信する相手の連絡先を選択します。
- ・発信する電話番号をタップします。※2

#### 3.1.2.3 履歴発信

- ・「内線プラス」のホーム画面(図 3-1)から「履歴」ボタンのタップ→「履歴画面」を表示します。
- ・発信する相手を選択し、発信ボタンをタップします。

※1 「内線プラス」が常駐している状態、かつ [2.2.2 発信オプション](#)が「通話ごとに確認」または「内線電話を優先」の場合、Android 本体の電話をかける操作によっても、内線発信を行うことができます。

※2 発信オプションが「通話ごとに確認」の場合、「発信方法の選択」が表示されます。

### 3.1.3 電話を受ける

かかってきた電話を受ける手順について説明します。

「内線プラス」に電話がかかってくると、着信画面を表示します。



図 3-2 着信画面

- ① 応答  
着信に応答し、通話状態になります。
- ② 拒否  
かかってきた電話を拒否することができます。電話をかけた相手には話中音が聴こえます。

また、かかってきた電話に出なかった場合、ステータスバーに不在着信を知らせるアイコンが表示されます。

### 3.1.4 通話中画面の見かた

通話中の画面について説明します。

なお、保留中、被保留中、発信中、着信中、通話終了時にも、同様の情報が表示されます。



図 3-3 通話中画面

- ① 内線番号  
第2章にてログインした内線番号が表示されます。
- ② メニュー  
タップすると、電話をパークすることができます([3.1.6 電話をパークする](#))。
- ③ 電話の状態  
「通話中」、「保留中」、「被保留中」、「発信中」、「着信中」、「終了」、「未設定」、「接続不可」、「話中」が表示されます。
- ④ 画像  
通話相手を電話帳に画像登録している場合、その登録画像が表示されます。
- ⑤ 名前  
通話相手を電話帳に名前登録している場合、その登録名が表示されます。
- ⑥ 相手番号  
相手の番号が表示されます。
- ⑦ 通話時間  
通話が始始してからの時間を表示します。

- ⑧ 転送  
タップすると、電話を転送することができます([3.1.5 電話を転送する](#))。
- ⑨ 保留  
タップすると、通話相手を保留することができます。「再開」をタップすると通話に戻ります。  
なお、保留状態が一定時間以上続いた場合、呼び返しが発生します。この場合、「再開」をタップすることで、元の通話に戻ります。
- ⑩ キーパッド  
タップすると、キーパッド画面が表示され、プッシュ信号を送信できます。
- ⑪ ミュート  
タップすると、自分の声を相手に聞こえなくします。もう一度タップすると元に戻ります。
- ⑫ 終了  
タップすると、通話を終了することができます。

### 3.1.5 電話を転送する

通話中の電話を転送する手順について説明します。

#### 3.1.5.1 転送発信

- ・「内線プラス」の通話中画面(図 3-3)から「転送」ボタンをタップします。
- ・「キーパッドを開く／連絡先を開く／履歴を開く」から、転送先を呼び出す画面を選択します。
- ・[3.1.2 電話をかける](#)と同様の操作で、転送先へと発信します。
- ・「終了」をタップすると、転送発信をキャンセルし、元の通話（ただし保留中）に戻ります。

#### 3.1.5.2 マルチ接続

転送発信を行った相手が応答すると、マルチ接続中状態となります。



図 3-4 マルチ接続中画面

マルチ接続状態のときに通話／保留相手をタップすると、保留相手との通話になり、通話していた相手を保留します（チェンジオーバ）。チェンジオーバは、2者接続状態であれば交互に操作可能です。

- ・マルチ接続中に、「転送完了」をタップすることで、転送が完了します。
- ・マルチ接続中に、「終了」をタップすることで、通話相手との通話を終了し、保留相手との通話（ただし保留中）になります。

### 3.1.6 電話をパークする

#### 3.1.6.1 コールパーク実行

通話中の電話をパークする手順について説明します。

- ・「内線プラス」の通話中画面(図 3-3)から「メニュー」ボタンをタップします。
- ・「コールパーク」をタップします。
- ・表示されるダイヤルパッド(※1)に、パーク番号(※2)を付与し、発信します。
- ・パークに成功すると、通話が終了します。
- ・パークに失敗すると、元の通話(ただし保留中)に戻ります。

#### 3.1.6.2 コールパーク応答

パークされた電話に応答する手順について説明します。

- ・「内線プラス」のホーム画面(図 3-1)から「固定短縮／パーク応答」ボタンをタップします。
- ・「パーク応答」をタップします。
- ・表示されるダイヤルパッド(※1)に、コールパーク実行で使用したパーク番号(※2)を付与し、発信します。
- ・パーク応答に成功すると、パークされた電話との通話になります。
- ・パーク応答に失敗すると、ホーム画面に戻ります。

なお、電話をパークした後、その電話が一定時間以上パークされたままの場合、呼び返しが発生します。この場合、「応答」をタップすることで、元の通話に戻ります。

※1 表示されるダイヤルパッドには、パーク実行／パーク応答するための番号が表示されています。パーク実行／パーク応答を行うときには、この番号は削除せずに、そのままパーク番号を入力してください。

※2 パーク番号は 00～99 の数字です。

### 3.1.7 グループ保留

「内線プラス」にグループ保留が設定されている場合、「内線プラス」の通話中にグループ保留を行うことができます。また、実行されたグループ保留に対しても、「内線プラス」から応答することができます。

グループ保留が設定された「内線プラス」では、ホーム画面および通話中画面の左側にスワイプタブが表示されます。スワイプタブを右にスワイプ、またはタップすることで、グループ保留画面(ホーム画面：図 3-5、通話中：図 3-6)が表示されます。

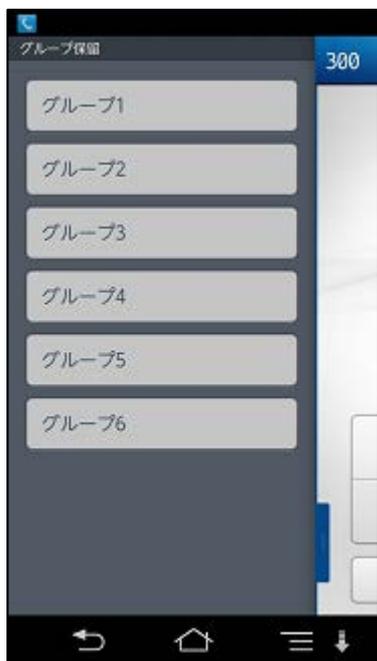


図 3-5 グループ保留画面(ホーム)



図 3-6 グループ保留画面(通話中)

#### 3.1.7.1 グループ保留実行

- ・「内線プラス」の通話中画面(図 3-3)からスワイプタブをスワイプ/タップし、グループ保留画面を表示します。
- ・選択可能なグループ保留ボタン(※1)をタップします。
- ・グループ保留実行に成功すると、通話が終了します。
- ・グループ保留実行に失敗すると、元の通話(ただし保留中)に戻ります。

※1: 既に実行されたグループ保留ボタンには、「使用中」と表示され、選択することができません。

### 3.1.7.2 グループ保留応答

- ・「内線プラス」のホーム画面(図 3-1)からスワイプタブをスワイプ／タップし、グループ保留画面を表示します。
- ・選択可能なグループ保留ボタン(※1)をタップします。
- ・グループ保留応答に成功すると、通話を開始します。
- ・グループ保留応答に失敗すると、グループ保留操作を終了し、ホーム画面に戻ります。

※1: グループ保留が実行されたグループ保留ボタンは、緑色で表示されます。  
使用されていないグループ保留ボタンは、選択することができません。

### 3.1.7.3 グループ保留呼び返し

電話をグループ保留した後、その電話が一定時間以上保留されたままの場合、呼び返しが発生します。この場合、該当する「グループ保留」をタップすることで、元の通話に戻ります。

なお、グループ保留の呼び返しは、同じグループ保留グループ(※1)に設定されているすべての「内線プラス」で発生しますが、グループ保留を実行した操作者と、それ以外の「内線プラス」とで振る舞いが異なります。

<グループ保留操作者>

デバイスがバイブすると同時に、グループ保留画面を表示し、呼び返しに該当するグループ保留ボタンが点滅します。

なお、グループ保留画面を閉じると、ホーム画面上のスワイプタブが点滅します。

<グループ保留操作者以外>

「内線プラス」を起動すると、ホーム画面上のスワイプタブ、およびグループ保留画面を表示した際の、呼び返しに該当するグループ保留ボタンが点滅します。

※1: 「内線プラス」に設定されたグループについては、管理者にお問い合わせください。

### 3.1.8 通話中に電話を受ける

「内線プラス」では、内線通話中に携帯電話への着信を受けることができます。

着信に応答すると、先に通話していた相手を保留し、Android の通話画面が表示されます。

なお、内線通話中の携帯電話への着信時は、「ププー・・・ププー・・・」という音が、受話口から聞こえます。

## 3.2 「内線プラス」の強制終了

「内線プラス」を強制終了する方法について説明します。

- ・メニュー→「アプリの管理」→「ダウンロード済み」タブで、「内線プラス」をタップします。
- ・「強制停止」をタップし、「OK」をタップします。

## 付録A 使用時の留意事項

ここでは、「内線プラス」をインストールした Android を使用する際の留意事項について記述しています。

- (1) 通話品質について  
「内線プラス」での通話時は、携帯電話での通話音声と聴感が異なります。
- (2) Android 本体の温度上昇について  
「内線プラス」での通話中、Android 本体が熱くなることがあります。
- (3) 「内線プラス」通話中の携帯電話への着信について  
「内線プラス」での通話中に携帯電話への着信を受けた際、Android が以下のマナーモード設定の場合、「プー・・・、プー・・・」音とともに、スマートフォンがバイブします。
  - ・アラーム ON マナーを選択している場合。
  - ・オリジナルマナーを選択している場合。ただし、オリジナルマナーの設定として、「バイブレーション」の「音声着信」にチェックが付いている場合。  
このバイブによる振動音が通話相手に聞こえるため、「内線プラス」ご利用時のマナーモードは「通常マナー」とされることを推奨します。  
また、携帯電話での通話終了後(「プー・・・プー・・・」という音を聞いている間)に、保留していた相手との通話を再開すると、通話相手に「プー・・・プー・・・」という音が聞こえます。
- (4) 他のアプリケーションとの共用について  
「内線プラス」ご利用時に、他の電話系アプリケーションが起動していると、「内線プラス」が正常に動作しない場合があります。「内線プラス」ご利用の際は、他の電話系アプリケーションを終了してください。

(5) Android バージョン 4.2 以降での本体設定について

1.画面消灯時の Wi-Fi 切断についてについて

Android バージョンが 4.2 以降のスマートフォンでは、画面消灯時に Wi-Fi ネットワークが切断され、「内線プラス」が電話を受けることができなくなります。「内線プラス」ご利用の際には、画面消灯時に Wi-Fi ネットワークを切断しない設定としてください。

<画面消灯時に Wi-Fi ネットワークを切断しない設定手順>

- ・ Android のホーム画面を表示します。
- ・ メニュー→「本体設定」→「Wi-Fi」→Wi-Fi ネットワーク画面を表示します。
- ・ メニュー→「詳細設定」→高度な Wi-Fi 設定画面を表示します。
- ・ 「画面消灯時の Wi-Fi 設定」をタップし、「画面消灯時に Wi-Fi を切断しない」を選択します。

2.Wi-Fi 最適化による「内線プラス」のログアウトについて

Android バージョンが 4.2 以降のスマートフォンでは、「Wi-Fi 最適化」が有効の場合、Wi-Fi 圏外に移動後、画面消灯状態で Wi-Fi 圏内に移動しても、「内線プラス」が MobiSart へのログインを行わない場合があります。

「内線プラス」ご利用の際には、「Wi-Fi 最適化」を無効に設定してください。

<「Wi-Fi 最適化」を無効とする設定手順>

- ・ Android スマートフォンのホーム画面を表示します。
- ・ メニュー→「本体設定」→「Wi-Fi」→Wi-Fi ネットワーク画面を表示します。
- ・ メニュー→「詳細設定」→Wi-Fi 最適化のチェックを外します。

(6) 番号計画について

お使いの端末によって、先頭に緊急電話番号(112、118、119、911 など)が含まれる番号へ電話をかけると、緊急電話へと発信されますので、サービス特番としては設定しないよう注意してください。

## 付録B ライセンス

License : Apache License.

-----  
Apache License, Version 2.0

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

### 1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and  
You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and  
You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[ ]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");  
you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software  
distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS,  
WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.  
See the License for the specific language governing permissions and  
limitations under the License.

-----

## NOTICE

---

Apache Commons Net  
Copyright 2001-2011 The Apache Software Foundation  
This product includes software developed by  
The Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

---

内線プラス クライアントソフト B (ユーザ編) Android 版 V2  
使用手引書

2016 年 3 月 第 3 版  
©富士通株式会社

---